

# 「相撲競技本県競技力の向上について」

相撲専門部

山形県立加茂水産高等学校

小野寺 将史

# 1, はじめに

山形県の相撲競技は小学校、中学校、高校、社会人と幅広く活動し数多くの全国入賞の成績を上げてきました。平成18年度は加茂水産高等学校のインターハイ団体3位など様々な大会で入賞し全国トップレベルで戦っています。高校卒業後は多くの生徒が大学進学し相撲のレベルを向上させたり、大相撲の世界で活躍している者もいます。山形県でも小学生くらいからの少年クラブなどもありそこから継続して高校などで続け活発的に活動したり大会などにも参加しています。最近では新相撲(女子)ができ全国的に広まってきています。

しかし、今までもあまり多くない競技人口が年々減少傾向にあり競技力レベルが徐々に下がってきているのが現状です。小学生から中学生に上がるときは継続する生徒が多いが中学生から高校に上がるときに継続して続ける生徒が減少してきています。そのため選手確保が重要な課題になっています。そこで私は今までの経験を生かすのようしていけば相撲人口を増やし、競技レベル向上できるかを今と昔を比べながら調べ、これからどのようにしていけば今までより良くなるか考えました。

## 2, 研究の方法

(1)調査方法 文献調査

(2)調査対象

- ・全国高等学校相撲年鑑(2001～2008)
- ・各種大会プログラム

(3)調査の内容

以下の記述のとおり

### 3, 結果と考察

#### 1, 相撲人口について

まず私は2001年から2009年までの高校生の相撲人口の変化を県、東北、全国とどのようになっているか調べました。グラフを作りどのような動きをしているかわかりやすくまとめてみることにしました。

##### ① 比較(山形県高校生の人数)

今年度山形県高校生の人数(2009)

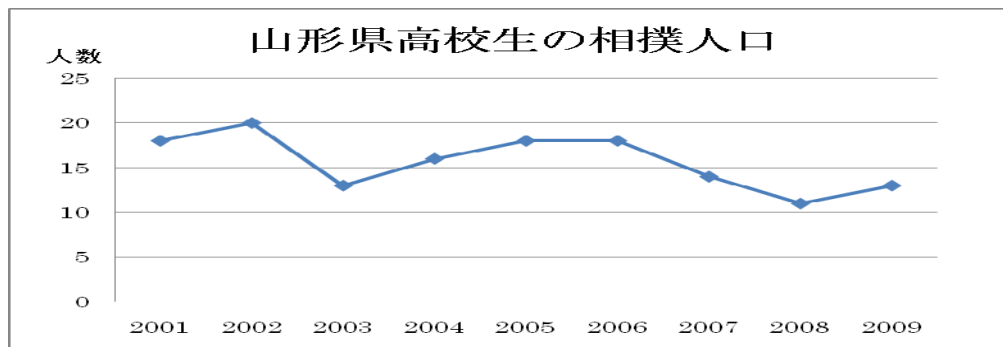
加茂水産	村山農業	酒田工業	鶴岡東	鶴岡南	酒田東	新庄神室	合計
5	2	2	1	1	1	1	13

私の高校時代の山形県高校生の人数(2001)

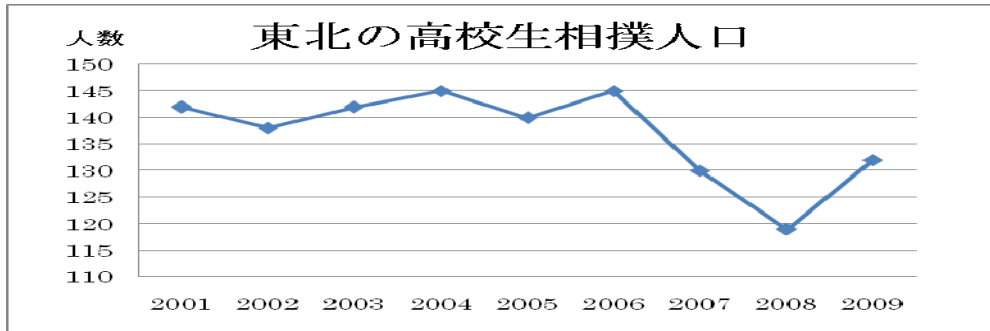
加茂水産	酒田工業	新庄農業	村山農業	合計
8	2	3	6	19

私の時と比べてみると学校数は増えてきていますが、競技人数に関しては若干減ってきています。グラフを見ると団体戦(5人制)には2001年度だと団体戦出場できる位のメンバーが揃っていましたが2009年度を見ると団体を組めるのが加茂水産しかありません。上記のグラフを見て変わってきていることがわかります。

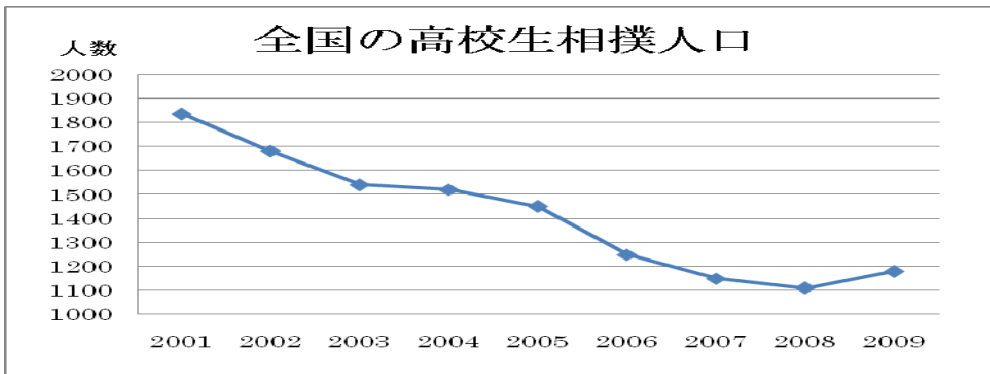
##### ① 県、東北、全国の相撲人口グラフについて



グラフを見ると2003年と2006年は特に人数は多く出ています。2001は国体団体4位、2002年は国体団体5位などがあります。2006年はインターハイ3位の成績を残しています。個人戦でも2002年、2003年は全国大会優勝、2006年は3位などに輝いています。しかしここ3年間は団体、個人とも全国入賞していません。徐々に相撲人口は減ってきているように見えます。上の表を見ると人数は減ってきていますが参加高校は私が高校生の時と比べると多くなっています。



東北のグラフを見ると2007年から人口が減りつつあります。しかし青森県、秋田県は相撲人口が多くレベル的にも高くなっています。特に青森県はインターハイや国体などでも上位入賞が多い県です。最近では宮城県や福島県も力を入れて強化しています。人口も山形県と比べても差が大きくなっています。最近の東北大会のプログラムを見ても団体戦県から3校ずつ出場枠がありますが山形県は最近1~2校くらいしか出場していません。



全国のグラフでは減ってきていることがわかります。しかし、全国の強豪校を見ると人数も多くいます。応援のレベルも多い人数と少ない人数のチームとでは全く違っています。最近ではモンゴルなどからの留学生も増えてきています。

結果を見ると全国的に大きく減少してきています。ここ最近の試合を見ると競技レベルも前に比べ下降してきているように思います。

山形県の相撲人口は年々歳が上がるに従ってやはり減ってきています。社会人では実業団のチームがある県は人数が増えていますが、ない県は大学を卒業しても地元にはあまり帰らず他の県の実業団のチームに入りその県から国体などの試合にも出場しているため本県の人数は減ってきています。私はまず中学生から高校に上がる時の競技人口を減らさずに継続してもらえるような環境作りも大切になってくると思います。

## 2, これからの相撲向上について

私は今まで相撲競技を見てきました。これからもっと相撲競技を向上させていけばよいか考えました。やはり上記で調査したように競技者の減少はかなりの問題になっています。これらの問題をどのようにしていけばよいか自分なりに考えてみました。

① 相撲の魅力を知ってもらえるような活動をする。

- ・県内でも小中高と県大会や地区大会など多くの試合が開催されています。これらを利用し相撲についての活動増やし、小学生など小さい子供でも楽しくできるような環境づくりをしていく。
- ・中学から高校に上がるときに人数が減ってきているので相撲だけでなく学校の魅力や特徴を存分に出していく。

② 指導について

- ・生徒のやる気を存分に出せるような練習内容と指導力があっても、やはり生徒がやる気がないと身につけません。生徒一人一人がやる気のある練習が出来るような環境づくりと指導を常に心がける。
- ・私も同じ道場や高校に全国や東北大会で優勝する先輩がいました。私もいつかこの先輩達のような成績がとれるようにと頑張ってきました。大きな目標を立てて練習に取り組んでもらう。

## 4, まとめ

今回の研究ではこれからの相撲人口増加には相撲の魅力をもっと知ってもらうことが大切だと思いました。全国的に学校以外での道場なども多くなってきています。山形県にも前は2つ、3つ位の道場しかありませんでしたが今は5つ、6つ位の道場ができました。最近では道場に通う小中学生が合同練習なども年に3~5回ぐらい開いています。このまま社会人まで続けられるよう高校での相撲以外の面での魅力などももっと全面にだせば高校でも続ける生徒が多くなるのではないかと思います。相撲は一人でも練習できますがチームメイトと力を合わせ様々な練習内容に取り組んでいければレベル向上にもつながっていくと思います。私の経験ですが相撲は相撲の強化も大切ですが私生活などにも大きく影響させてくれる競技です。大勢の人数で合宿などを行い生活をともにしていると精神的にも強くなれます。他のスポーツもそうですが体力だけでなく精神力も大切です。私は今回の研究内容を生かし、問題解決、克服しながらこれからの生徒たちを育てていきまた全国の大会で活躍できるような選手を育てて行きたいと思います。